

ポジティブインパクトファイナンスをご利用いただいた事業者さまの
 サステナビリティ経営実現に向けたお取り組み状況
 (モニタリング結果の開示)

十六銀行 ソリューション営業部
 十六総合研究所 コンサルティング部

当行のポジティブインパクトファイナンスは、2022年3月の取扱い開始以降、2023年12月末時点で61先の事業者さまにご利用いただきました。

十六銀行・十六総合研究所が作成した評価書につきましては、従来の財務諸表による定量面の分析のみならず、事業者さまの経営資源やサプライチェーンとの関係など定性面も詳しく分析することで、事業者さまのインパクトを丁寧に特定するよう努めてまいりました。このため、ご利用いただいた事業者さまからは、サステナブル経営の実現に向けた自社の現状を把握するための良い機会となったとお言葉をいただいております。

また、事業者さまと対話のうえ策定したKPIは、本業(事業者さまのお取扱いする商品・サービス)、環境問題、従業員さまの働きがいなど、幅広いテーマから設定しております。

なお、モニタリングを実施した8社さまにつきましては、本左下のレーダチャートのとおり、KPI達成に向けて順調に取り組み始めていることを確認のう

え(※詳細は次頁以降をご覧ください)、必要に応じて、ビジネスマッチングなどKPI達成に資するソリューションを提案しております。

今後、KPIを達成した事業者さまや、新たにポジティブインパクトファイナンスをご利用いただく事業者さまに対して、追加的なインパクトを創出するKPI設定の重要性を啓蒙するとともに、この達成に向けた継続的支援を通じて、事業者さまと共通価値の創造をはかり、持続的な成長を目指してまいります。



■モニタリングを実施した事業者さまおよび十六総合研究所のコメント

(1) 十六リース株式会社

事業者さまのコメント
<p>当社は、十六フィナンシャルグループの一員として、同社が掲げるマテリアリティに資するKPIの達成を通じ、お客さまとともに持続可能な社会の実現につながる活動を行っています。</p> <p>2022年度は、ESGリースを活用のうえ、お客さまの設備導入における環境保全と気候変動対策に向けたお取組みの支援に注力しましたほか、従業員満足度の向上に資する取組みとして、有給休暇取得率の向上、モバイルPCの普及もすすめてまいりました。</p> <p>今後は、メンテナンスリースの推進体制を強化に向け目標設定をすすめるほか、モバイルPCについては、社内体制や従業員ニーズを踏まえ、営業担当者を中心に支給し、従業員のワーク・ライフ・バランス向上にも努めてまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。</p> <p>ESGリース活用推進のお取組みにより、「包括的で健全な経済」や「気候」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>有給休暇取得率の向上、モバイルPCの普及のお取組みにより、「雇用」の面でポジティブインパクトの創出とネガティブインパクトの緩和に寄与したと考えられます。</p> <p>また、当初設定したKPIのうち、「メンテナンスリースに関する数値目標の設定」については、今後取組み予定であることをヒアリングしております。そのため、当初設定したKPIは、「モバイルPCの普及率」以外に関しては来年以降も引き続きモニタリングを行い、「モバイルPCの普及率」に関しては目標の見直しを実施する方針です。</p>

(2) 株式会社山商運輸

事業者さまのコメント
<p>当社の設定したKPIにつきましては、毎月の社内会議にて進捗状況について確認を行うなど、全社を挙げてSDGsの推進に努めております。</p> <p>本業である運送業に関するところでは、荷主さまのご協力・ご理解を賜り、配送ルートの見直し等運搬・積載の効率化を実現し、車両から排出される温室効果ガスの削減、労働時間の削減に取り組んでいます。</p> <p>当社従業員の働きがいに関するところでは、「働きやすい職場認証制度」における2つ星認証を取得しており(※当初KPIでは1つ星認証を想定)、今後は3つ星認証を目指すほか、新たな人事制度の構築を通じて、団塊の世代退職に伴う2024年度・2025年度問題にしっかりと対処し、あらゆる従業員が活躍できる職場づくりに努めてまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF実行時に設定したKPIは概ね順調に進捗しています。</p> <p>配送ルートの見直し、運搬・積載の効率化などの取組みにより、「移動手段」「包括的で健全な経済」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>温室効果ガスの削減、労働時間の削減などのお取組みにより、「気候」「雇用」の面でネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。</p> <p>当初設定したKPIのうち、「働きやすい職場認証制度」に関する目標については「三ツ星認証取得を目指す」という内容に上方修正を行い、その他については当初設定した内容にて、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(3) 有限会社山陽

事業者さまのコメント
<p>当社は、メインビジネスである自動車解体事業を通じて、循環型社会に貢献するため、策定した KPI について、できることから取り組んでまいりました。</p> <p>具体的には、リサイクル車両台数については、2025 年までに年間 9,600 台まで増加させる目標に対し、2022 年は 6,111 台を取扱いしました。また、清掃活動をはじめとした社会貢献活動も定期的にも実施しております。</p> <p>働きやすい職場づくりに向けた取組みについては、年 2 回のフィードバック面談を通じて、全従業員のフォローをはかり、満足度向上に努めており、外国人労働者も定期的に受け入れております。</p> <p>今後は、KPI 達成に取り組む中で、取扱い可能な自治体、リサイクル分野の拡充を通じ、引き続き循環型社会に貢献してまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI はおおむね順調に進捗しています。</p> <p>自動車のリサイクル、働きやすい職場づくりに向けたお取組みなどにより、「廃棄物」「雇用」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>また、当初設定した KPI のうち、「フォークリフトの電動化」「社屋照明の LED 化」については、今後取組み予定であることをヒアリングしております。</p> <p>そのため、当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(4) 株式会社コクスン

事業者さまのコメント
<p>昨年度は従業員が働きやすい環境を整備するために、ベースアップを伴う定期昇給を実施のうえ平均 3%の給与上昇を実現しました。2030 年度の賃金目標は 2022 年比で 110%上昇であるため、今後は残り 7%の昇給を実現出来るよう様々な施策に取り組んでまいります。また、資源の無駄遣いを減らす為にペーパーレス化を進め、契約書や社内の申請手続き等を電子化させました。他には、石油資源依存からの脱却や大気汚染低減の観点から電動化車両の商品仕入れを強化しており、プラグインハイブリッド車の販売を数台行っています。今後はさらに電動車販売比率を増やしていく計画です。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>2030 年の KPI 達成に向けた社内体制の整備が着実に進んでいます。</p> <p>新しい人事制度が整備され、当初設定された「2030 年までに 2022 年比で給与水準を 110%以上増加させる」という KPI が達成されれば、「雇用」の面でポジティブインパクトの創出が期待されます。</p> <p>また、「2030 年までに販売台数の 10%以上を電気自動車にする」「2030 年までに販売台数の 40%以上をハイブリッド車にする」という KPI については、中古車市場に電気自動車・ハイブリッド車が出回り次第、取り組み始める旨をヒアリングしております。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正は加えず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(5) 株式会社ビレッジ開発

事業者さまのコメント
<p>街づくりを通じて地域貢献に注力する当社は、将来的な「ビレッジランド」の開発に向けて、各種 KPI の達成に取り組んでまいりました。具体的には、地域の雇用創出や地元企業が有する技術力の発信を目的として、地元企業との連携により、トマト栽培を中心とした最先端の農業を開始しました。</p> <p>また地元のバスケットボールチームあてに協賛金を拠出するなど地域スポーツの活性化も支援しております。</p> <p>加えて、環境問題の解決に資する取組みとしては、EV の積極購入を進めるほか、脱炭素先行地域の取得を目指して安城市とタイアップをすすめております。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。</p> <p>地域雇用の創出や地元有力企業との連携の取組みにより、地域に「雇用」や「経済」の面においてポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>また、今後の取組みである EV 車の積極購入や安城市とのタイアップなどにより、「環境」の面でのネガティブインパクトの緩和が期待されます。</p> <p>当初設定した KPI については、特段の修正は行わず、引き続き来年以降もモニタリングを行う予定です。</p>

(6) 株式会社研木村

事業者さまのコメント
<p>当社は、解体工事業を営む傍ら、エコアクション 21 の登録企業として、環境負荷低減と環境保全につながる環境経営システムの構築・運用・維持に継続して取り組んでまいりました。特に 2023 年 3 月期においては、温室効果ガス排出量の削減に関して中小企業版 SBT 認証を取得しており、今後は脱炭素社会の実現に向け、従業員一丸となってコミットしてまいります。</p> <p>また、社会貢献活動としては、継続が重要であると認識しており、今年度も地元小学校への寄付を実施しました。これに加えて、当社の新社屋の改装を機に、自社敷地にてマルシェを開催するなど、地域を盛り上げる活動も開始しました。</p> <p>今後とも金融機関ほか各ステークホルダーとの連携のもと、サステナブル経営の実現を目指してまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI はおおむね順調に進捗しています。</p> <p>地元小学校への寄付など社会貢献活動によって、「教育」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>また、温室効果ガス排出量の削減に向けたお取組みにより、「気候」の面でネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(7) 有限会社サンメンテナンス工機

事業者さまのコメント
<p>当社は、サステナブル経営のため、SDGs17のゴールごとに、将来のありたい姿やこれに向けた取組をリストアップ・整理のうえ、全社を挙げてKPI達成に取り組んでおります。特に2022年度については、大手企業との協働によりサーキュラーエコミーを意識した新商品の開発に注力いたしました。</p> <p>今後は、より多くのお客さまに自社の製品をご利用いただけるようブランド力の向上に努め、製造業界における環境負荷低減と資源循環型社会の形成に貢献してまいります。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。</p> <p>特に、「環境負荷低減に資する新製品・サービスを2030年度までに5件開発する。」という KPI に対しては、大手企業との協働によるプロジェクトも着実に進捗していることをヒアリングしております。</p> <p>環境負荷低減に資する製品を新たに開発することにより、主に「廃棄物」の点においてポジティブインパクトの拡大が想定されます。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>

(8) ナガイホールディングス株式会社

事業者さまのコメント
<p>2022年度は、既存拠点、ステーションで使用する電力のカーボンフリーエネルギーへの移行が完了したほか、ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）認証の取得、全教育プログラムの年間計画立案などに取り組みました。</p> <p>詳しくは、ナガイホールディングスサステナビリティレポート2022をご覧ください。 サステナビリティレポート/2022 ナガイホールディングス (nagaiholdings.jp)</p> <p>今後は、一宮リサイクルセンターのリサイクル率の向上、廃食油による再生可能エネルギー発電事業の強化、マニフェスト、請求書、契約書の電子化などに取り組み、持続可能な社会の実現に向けて全社を挙げて取り組む方針です。</p>
十六総合研究所のコメント
<p>PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。</p> <p>全教育プログラムの年間計画立案の取組みによって、「雇用」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。</p> <p>また、カーボンフリーエネルギーの移行や ISO45001 認証の取得などの取組みにより、「気候」「雇用」の面でネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。</p> <p>当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。</p>